

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年12月26日 発行

1.発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病		疫学週				判断基準(定点当たり)		
		48 週	49 週	50 週	51 週	警報レベル		注意報レベル
		11月25日 ~ 12月1日	12月2日 ~ 12月8日	12月9日 ~ 12月15日	12月16日 ~ 12月22日	開始基準値	収束基準値	基準値
小児科 小児科 小児科	インフルエンザ [#]	9 3.00	12 4.00	49 16.33	130 43.33	30	10	10
	新型コロナウイルス感染症 [#]	14 4.67	24 8.00	45 15.00	69 23.00	-	-	-
小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科 小児科	RSウイルス感染症	0 —	2 1.00	0 —	0 —	-	-	-
	咽頭結膜熱	0 —	0 —	2 1.00	0 —	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 1.00	2 1.00	2 1.00	1 0.50	8	4	-
	感染性胃腸炎	10 5.00	13 6.50	18 9.00	9 4.50	20	12	-
	水痘	2 1.00	2 1.00	2 1.00	5 2.50	2	1	1
	手足口病	16 8.00	5 2.50	12 6.00	6 3.00	5	2	-
	伝染性紅斑	0 —	0 —	0 —	1 0.50	2	1	-
	突発性発しん	1 0.50	1 0.50	0 —	2 1.00	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	3
眼科 眼科	急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
	流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
基幹 基幹 基幹 基幹 基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
	無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
拡張 拡張 拡張	マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2.施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	◎	◎	—
備考	感染性胃腸炎 インフルエンザ	コロナウイルス感染症 感染性胃腸炎	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3.栗原支所より

【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザが急激に増加し、警報レベルになりました。
- ・新型コロナウイルス感染症の発生も継続しています。マスクの活用や手洗いなどの基本的な感染対策を徹底してください。
- ・感染性胃腸炎、手足口病は継続しています。
- ・水痘の発生が警報レベルです。

【集団発生情報】

障害者施設及び保育所において感染性胃腸炎等の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム ～飛沫感染～】

- ・感染者が咳やくしゃみ、会話をした際に病原体が含まれた水滴(飛沫)が飛び、これが他者の鼻やのど、目の結膜に付着することで感染が成立します。
- ・飛沫は粒子が大きいいため長時間にわたり空気中を漂うことはありませんが、1～2m先まで飛散します。
- ・湿度が高いと飛沫の大きさが保たれるため、空気中を漂う時間が短くなり、飛散する範囲が狭くなります。
- ・予防には、換気、咳エチケット、周囲や感染者がマスクを着用すること、感染者から2m以上離れて飛沫を浴びないようにすることなどが重要です。
- ・飛沫から目を保護するには、ゴーグルが有効です。



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>